

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
愛荘地区

令和元年10月  
滋賀県愛荘町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	旅人数	1,000	1,800	1580 (1,539)	確定 見込み ●	△	あり ● なし	1,347	平成30年度	△	10日間/月の計測であり、計測時期が影響したものと考える。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	中山道の再生を目的とした街道交流館の整備を完了したが、新しい人の流れをつくる波及性のある新たな事業の構築など、継続した取り組みが求められる。	
指標2	近江上布伝統産業会館 月別入場者数	300	400	820 (400)	確定 ● 見込み	○	あり なし	550	平成30年度	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	近江上布伝統産業会館による地場産業の発信(体験事業)や最寄りに駐車場が完成したことによる利便性の向上が相まって、徐々に来館者数が増加している状況。	
指標3	旧愛知郡役所活用によるまちづくりのワークショップへの参加者数増加率	30人	45人(+50%)	-	確定 ● 見込み ●	×	あり ● なし	120 (+300%)	平成30年度	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちづくりの拠点を活用したフォーラム等の開催により、町民交流およびコミュニケーションの促進に繋がる取り組みを行った。	
指標4					確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
指標5					確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	グランド拡張の効果の評価	%	-	76	確定 ○ 見込み			-	H 年月		-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	保護者に15項目のアンケートを実施。171人から回答があった。回収率66%。アンケートを解析した結果、グランドの拡充に効果があったとする評価を得た。
その他の数値指標2	中山道住人の事業効果の評価	%	-	72	確定 ○ 見込み			-	H 年月		-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	中山道愛知川宿の商店等81軒に19項目のアンケートを実施。82軒回答。回収率77%。アンケートの解析の結果、中山道整備に効果があったとする評価を得た。
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	旧郡役所・街道交流館活用のソフト対策の強化	両建造物がかつて旧愛知郡の中心であったことの証となる歴史を広く発信するとともに、地域資源を活用した展示会やワークショップの開催、また拠点間をつなぐ観光案内やまち歩きツアーなどを開催し、地域住民をはじめとする多くの来訪者の愛着を育む取り組みを行った。	まちづくりの拠点となる旧愛知郡役所、さらに中山道再生のきっかけを目指す街道交流館の開館により、域内・域外住民の新たな交流が生まれ始めた。	両建造物が持続可能な施設となるためには、他の町内施設とを結ぶコア施設の機能を持つことが不可欠であり、愛荘町の魅力を体感できる着地型の新たなメニューの構築が必要である。
	中山道沿道建屋の空間整備による魅力の強化	従前から魅力を高める取り組みのひとつとして沿道建屋を活用した「のれんアート」を実施し景観づくりに資する取り組みを行ってきた。現在、沿道建屋の着手にまで至らないものの、道路のカラー舗装および街路灯の整備を行い、歴史街道としての中山道の魅力を高めるための取り組みを行った。	歴史街道をモチーフとした街路灯の整備は、メディアにも取り上げられ、地域住民のまちづくりの機運を高めるきっかけとなった。	中山道の景観を損なうことのないよう、建屋のファサード整備や景観行政に着手していくことで、今後も継続した修景に取り組むことが求められる。
改善策  ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	まちづくりの拠点としてのソフト対策	建物の文化財価値およびまちの歴史を五感で感じるができる企画展やフォーラムの開催、夜間ライトアップの実施をはじめ、志ある個人や団体の発表の場として活用した。	個人や団体の可能性を試す多様なテーマを取り上げた展示会等の場として活用したことにより、子どもから高齢者まで幅広い年代層の人が集える拠点としての機能を確立した。	体験や学びをコンセプトとした「ひとつくり」の拠点としての機能を持つことで、施設間のネットワーク化を図ることが不可欠である。
	中山道の空家となった商店の活用、空地の活用についての対応	中山道活性化のためには、街道交流館を起爆剤とした商店街の再生が必要であり、空き家・空き店舗の活用を目的とした町商工会との連携協定を締結。	協定締結後、空き家・空き店舗の活用だけでなく、中小企業施策もあわせて活用できるよう継続した協議を行っている。また、地域イベント時にモデル的に空き店舗を活用し、賑わいの再生に寄与する取り組みを行った。	町行政および町商工会、観光協会との綿密な連携のもと、空き家・空き店舗対策はもとより、経済の活性化、雇用の創出を目的とした総合的な取り組みが求められる。
	駅周辺の道路整備	県道湖東愛知川線交差点から愛知川駅前までの道路線形見直しおよび歩道整備を実施。	歩行者・自転車の通行が可能となり、歩道と車道を分離することで安全性の向上につながった。	町道愛知川市線の前線(愛知川駅～愛の郷まで)の車道拡幅・歩道整備を実施することで町内各施設との導線の確保が求められる。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
中心市街地の魅力向上(歩きたくなるまちづくりの推進)	旧愛知郡役所や街道交流館(中山道を含む)、駅を結ぶエリアを本町の中心市街地として位置付け、各施設のネットワーク化による着地型観光(体験・宿泊)の推進や、空き店舗対策による賑わいの創出を実施していくとともに、本エリアのメイン道路となる町道愛知川栗田線の拡幅工事に着手し、人にやさしい、歩きたくなるまちづくりを推進する。	○体験・宿泊 令和元年度～パイロット事業 ○空き店舗対策 令和2年度～調査 令和3年度～マッチング開始 ○拡幅工事	事業を推進していくための財源確保はもとより、本エリアの魅力を高めるためには地域ぐるみの取り組みが不可欠となる。そのため、事業到達点を見据えた時間軸を検討し、それに合わせた行政、地域、団体の役割を明確化することにより、一体的な取り組みとして相乗効果を生み出していくことが求められる。

# 都市再生整備計画(精算報告)

あいしょうちく  
愛莊地区

しがけん あいしょうちょう  
滋賀県 愛莊町  
平成30年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>旧中山道整備による賑わいの再生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧中山道の町並みを重視した道路の舗装を実施し、あわせて町並みをライトアップして夜間における景観の向上を図り、歴史のある町並みを活かし、快適で魅力ある町並み整備を行い、旅人が多く訪れる個性ある町づくりを進める。旅人の利便性を向上させるため、駐車場、休憩所、トイレ、案内所等を整備する。</li> <li>・まちかど博物館に指定された各商店には、それぞれに独自の店の顔があることから、町の活性化にこれらの要素を活用し、地域のコミュニティの醸成を進め、商店街の活性化を実現する。</li> </ul>	<p>旧中山道愛知川宿道路カラー舗装事業(基幹事業)・東部公園整備事業(基幹事業)・旧中山道愛知川宿街路灯整備事業(基幹事業)・旧中山道愛知川宿駐車場整備事業(提案事業)・愛知川幼稚園グラウンド拡張事業(提案事業)</p>
<p>地域固有資源の保存・有効活用によるぶんか・学習・交流ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古くから湖東地方の文化的中心地であった旧中山道「愛知川宿」には、90年近くの歴史を有する旧郡役所が残されている。この建物は、大正11年(1922年)に竣工した木造2階建ての近代洋風建築である。高さは棟まで13メートルあり、地域のシンボルとして堂々たる風格を有している。この旧郡役所を地域のシンボルとしてまちづくりに活用、市民の交流、コミュニケーションの場として整備を進める。さらに街道を歩く旅人の施設整備を同時に進める。一方、湖東三山スマートインターチェンジに近い蚊野においては、公民館跡地を市民と旅人の交流ができる場の整備を進める。</li> </ul>	<p>旧愛知郡役所保存活用事業(基幹事業)・愛知川宿街道交流館整備事業(基幹事業)・町民交流広場整備事業(提案事業)</p>
<p>人にやさしい交通体系の整備による安全・安心の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近江鉄道の「愛知川駅」および「るーぶる愛知川」と県道湖東愛知川・市線において交差点の改修に合わせ、歩行者の安全確保のための歩道設置を進める。</li> </ul>	<p>町道愛知川線交差点改良事業(基幹事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旧郡役所の保存の市民活動について 町内の有志により旧愛知郡役所建物の保存と活用については広く保存活動を行っている「こころばえの会」があり、署名活動が行われ、2千5百名の署名を集めた。当会では、「よみがえれ旧愛知郡役所」というPR紙を発行し、保存に必要な市民の理解を広く訴えている。今後、旧愛知郡役所の活用について、さまざまなアイデアを準備しているところである。</li> <li>○近隣の大学との連携 まちづくりについては、これまでに滋賀大学・滋賀県立大学・びわこ学院大学と連携し、まちづくりについてのアイデアに基づく学生のパワーを活かしたまちづくりを進める。</li> </ul>	

